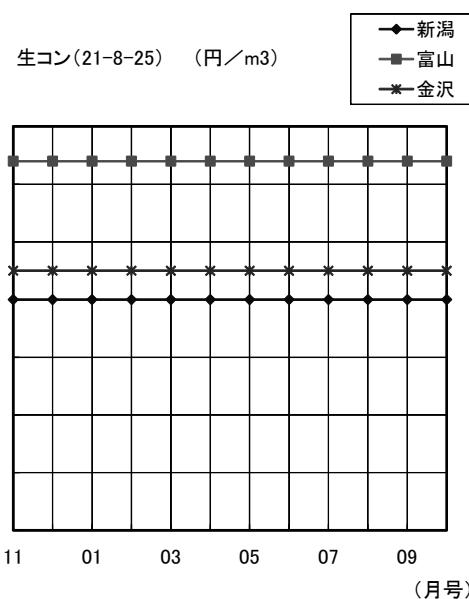
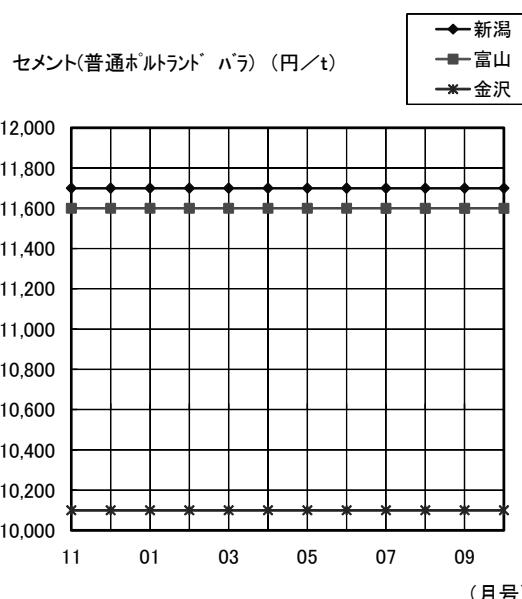


## 5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

| 品 目     | 7~9 月期の状況と現況   | 先行き  |
|---------|--|--|
| セメント    | <p>【新潟県】上越地区においては上信越道拡幅工事向けを中心に堅調な荷動きが見られるものの、下越・中越地区では盛り上がりを欠いている。販売側では、契約価格水準の低い生コンメーカーに対して値上げの意向を示しているものの、需要者の抵抗は強く交渉の進展は見られない。目ぼしい工事口物件が乏しいことから、販売競合が強まるを見る向きもあり、目先、現状維持が精いっぱい。</p> <p>【富山県】メーカー側は値上げを唱えているものの、販売・特約店に対して具体的な指示は出でていない。このため、最大需要者である生コン業者側でも値上げはないものと捉えているもよう。先行き、市況好転の材料乏しく、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】県内の生コン需要が低調に推移する中、セメントの引き合いも盛り上がりを欠く状況が続いている。メーカー側では、昨年度下期から原料である石炭価格の高止まりや輸送面での運転手不足によるコストアップを抱えているが、需要者のセメントの値上げに対する抵抗は強いことから、依然として値上げには慎重な構え。当面、現行水準を横ばいで推移する見通し。</p>   | (バラ物)<br>(新潟)<br>→<br>(富山)<br>→<br>(金沢)<br>→     |
| 生コンクリート | <p>【新潟県】新潟地区では、荷動きはマンション、商業施設の民需が中心で、官需の大幅な減少により販売側の年度需要見通しは前年度を下回る見込みとなっている。販売側では出荷の減少に伴う固定費負担の増加から、市況下落に繋がる受注競争を回避し、採算確保を優先する販売姿勢を見せている。先行き、市況好転の材料乏しく、現行価格維持が精いっぱいの状況。</p> <p>【富山県】県内でも需要の多い富山地区、高岡地区で伸び悩んでおり、県全体の需要も減少傾向をたどっている。県内の骨材メーカーが平成30年4月から1t当たり300円の値上げを打ち出していることで、各地区の生コン協組は製造コストの増加が避けられない見通しから、次年度に向けて対応を模索し始めている。目先、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】南加賀地区では北陸新幹線の延伸工事向けに堅調な需要が見られるが、他地区は官民ともに引き合いが乏しく、前年度割れで推移している。骨材、セメント等の原材料価格に動意がない中で、各協組は共同販売事業を軸とした現行価格維持に注力しており、先行きも横ばいで推移する見通し。</p>  | (21-8-25)<br>(新潟)<br>→<br>(富山)<br>→<br>(金沢)<br>→ |
| 骨材      | <p>【新潟県】新材は、第2四半期に入り荷動きは出始めたものの、全体需要は前年度割れで推移している。販売側では余剰在庫を抱えており、一部で数量指向の販売が見られるが、大勢は採算を重視した販売姿勢を崩していない。先行き、横ばいで推移する見通し。一方、RC材については新潟地区においてビル解体による発生材が増加しており、供給過剰感の強い再生クラッシャンは安値販売が散見されている。先行き、弱含み。</p> <p>【富山県】道路工事の需要低迷で荷動きは冴えない。採取コストの増大を理由に、骨材販売組合は8月末に平成30年4月からの価格改定を発表した。今後、需要者からの大きな抵抗が予想される中、組合では当面は契約価格水準の低い需要家の取引価格を引き上げるべく交渉を進める構え。目先、横ばい推移の見通し。</p> <p>【石川県】北陸新幹線延伸工事向けが需要に下支えとなり、コンクリート用骨材の荷動きは好調に推移している。また、建築解体工事の減少を背景にRC材が不足する場面もあり、代替品としての新材の引き合いも目立ち、路盤材の荷動きも好調を維持している。こうした中、一部のメーカーは需給引き締まりを背景に、価格引き上げを求めており、需要者の購買姿勢は厳しく、交渉の綱引き場面が増えている。目先、現行値圏内を横ばいで推移する見通し。</p> | (C-40)<br>(新潟)<br>→<br>(富山)<br>→<br>(金沢)<br>→    |

【価格推移】



| 品目         | 7~9月期の状況と現況   | 先行き   |
|------------|---|---|
| 棒鋼         | <p>3県強含み</p> <p>【新潟県】新潟地区の引き合いは精彩を欠く展開が続いているが、メーカーの値上げ打ち出しを受け、流通側も早期の末端価格への反映を目指して売り腰を強めた。鉄屑相場が強基調に推移していたことから需要者も値上げに理解を示し、値上げ幅の一部が市中に浸透。8月にt当たり1,000円、9月にt当たり3,000円の上伸を示した。製販ともに、一段高を目指す構えで、当面、売り手主導の展開が続く見通し。先行き、強含みで推移する公算が大きい。</p> <p>【富山県・石川県】春先から需要の低迷が続く中、需要者側の指し値は厳しく、7月にt当たり1,000円下落した。しかし、鉄屑価格が強基調に推移したことを受け、メーカーが値上げに踏み切ったことで、販売側も追随する動きを見せた。需要者側も先高感への警戒から値上げを容認し、9月にはt当たり3,000円の上伸を示した。引続き製販ともに売り腰は強く、先行き、強含みで推移しよう。</p>   | <p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟)</p>  <p>(富山)</p>  <p>(金沢)</p>        |
| コンクリート一次製品 | <p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】新設の道路工事、農業関連の工事物件はあるものの、中小物件が中心で需要は盛り上がりを欠いている。販売側では、需要見合いの生産調整によりコスト削減を図り、利益の確保に注力している。鉄筋等の原材料の上昇から値上げを唱える声も一部に聞かれるが、需要者側の購買姿勢は厳しく、価格交渉には至っていない。7~8月の集中豪雨の復旧工事が実需に繋がるかは不透明な状況で、当面、現行水準を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】道路用製品の引き合いは小口物件が中心で、メーカーの製造・運搬コストの負担は増加傾向にある。一方、農業用は県西部における庄川左岸の国営事業を中心に荷動きが見られ、加えて、当工事に付随する県営工事の需要も出始めている。先行き、農業用製品の堅調な需要環境を背景に、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】需要は、官・民とともに低調で、荷動きは維持補修工事向けの小口物件が中心となっている。メーカー各社は、今後も大幅な出荷の増加は期待できないと見る向きが多い中、現行価格の維持が当面の優先と売り腰を引き締めている。先行き、横ばいの公算大。</p>                              | <p>(道路用製品)</p> <p>(新潟)</p>  <p>(富山)</p>  <p>(金沢)</p>       |
| アスファルト合材   | <p>横ばい推移</p> <p>【新潟県】第2四半期における県内需要は、前年同期比で微減。高速道路向け等のスポット物件により明暗が分かれており、スポット物件を受注できなかったプラントでは、前年同期を大幅に下回るプラントも見られる。需要家の値引き要求が厳しさを増すなか、引き続き販売筋では採算重視の姿勢を徹底している。先行き、需給好転材料に乏しいものの、現行値圏内を横ばいで推移する見通し。</p> <p>【富山県】県の西部で高速道路や堤防舗装工事向け堅調な荷動きが見られるが、東部では需要は冷え込んでおり、荷動きは冴えない。今のところ、目立ったメーカー間の販売競合は見られないものの、出荷量確保に向け積極受注に意欲を示すメーカーも見られるなど、今後のメーカー側の動向が注目される。目先、横ばいで推移する見通し。</p> <p>【石川県】道路工事物件の減少を背景に、需要は低迷している。こうした中、需要者からの指し値は厳しいが、メーカー側は出荷量減少に伴う採算悪化に危機感を強めており、安値受注には慎重な構えを見せている。また、上伸基調にあったスト・アス価格も落ち着いていることから、メーカー各社は現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。</p> | <p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟)</p>  <p>(富山)</p>  <p>(金沢)</p>  |

【価格推移】

